かわら版

品川宿

第　119　号
平成 27 年 11 月 5 日発行
品川第一地域センター
品川区北品川 3-11-16
電話 3450-2000

しながわ宿場まつり

9月26日(土)と27日(日)の2日間、旧東海道北品川の八ツ山から南品川の品川寺までの約2㎞にわたって「第25回しながわ宿場まつり」が開催されました。

26日(土)の夕方は、「おいらん道中」が披露され、公募で選ばれた5人の女性がおいらん姿に扮し、きらびやかであでやかな衣装を身にまとって、おつきの禿(かむろ)に扮した子ども達や若衆を引き連れ、「外八文字」と呼ばれる独特の歩き方で、旧東海道を約2時間半かけて練り歩き、沿道の観客たちを魅了しました。

↑片足約2.5㎏の「高下駄」
普通に歩くだけでもとても
大変そう・・・

27日(日)には、「江戸風俗行列」が行われました。江戸時代のさまざまな職業・役柄に身を包んだ人々が役になりきって、旧東海道を練り歩きました。ゴールとなった品川寺では火渡り荒行も行われ、さながら江戸時代にタイムスリップしたかのような雰囲気を味わうことができました。

↑おいらんに扮した女性
とっても華やかです！！

→水戸黄門に扮したこのお方は・・・

聖蹟公園では、全国各地の名産品の販売や、ダンスや演奏会・演舞などのライブステージなどが行われ、食欲をそそる香りと胸高鳴るパフォーマンスで、普段では見ることない程の人だかりが出来ており、活気に溢れていました。

26日・27日の2日間を通じて、旧東海道は地域の人や観光客・行列の参加者などで埋め尽くされ、東海道五十三次の最初の宿場町であった「品川宿」当時を彷彿とさせるような賑わいをみせた「宿場まつり」となりました。

秋の交通安全運動

9月21日(月)から30日(水)までの10日間、「やさしさが 走るこの街 この道路」というスローガンのもと品川区交通安全運動が行われました。

29 日(火)には、濱野区長が小関親睦会の交通安全テントを訪問し、日ごろの交通安全活動に参加している大勢の町会のみなさんに対して、感謝の気持ちを伝えて激励しました。

今回、区長が訪れた北品川五丁目(小関親睦会)は、再開発が行われ、高層マンションやオフィスビルが建ち並ぶ新しい景色が広がっています。道路も整備されて、人や車の流れも大きく変わったため、交通量もそれに伴って増加しています。人の流れが切れ目なく続くなか、町会のみなさんが交代で「横断中」の黄色い旗を掲げて通行する人たちの安全確保をしながら、交通安全を呼びかけていました。

また、この日は飛び入り参加の親子も交通安全運動に参加し、黄色い旗を手にするかわいらしい姿に、道行く人も微笑んでいました。

回覧																	

古紙を配合した紙を使用しています。